

平成31年度 外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|-----|--------------|-----|------|--|
| 外国語 | コミュニケーション英語Ⅰ | 4 | 第1学年 | All Aboard! English CommunicationⅠ（東京書籍） 英文法教室（桐原書店編集部） |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・英語の基礎固め・学び直しを中心に行い、「話す力」「聞く力」「読む力」「書く力」をバランスよく学習していきます。自ら学ぶ姿勢を身に付け、興味をもって積極的に授業に取り組みましょう。
- ・習熟度別少人数授業を導入し、上級学校への進学希望者の質問にも丁寧に対応していきます。
- ・実際に学んだ表現を使って、クラスメイトと触れ合いながら楽しく実践する機会を設けます。そこで身に付けた技能を実技テストで評価します。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|--|------------------------------------|---|------------------------------------|--|------------------------------------|--|------------------------------------|
| 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 |
| ・母語話者にも理解してもらえるように英単語を適切に発音することができる。 ・決まった表現や形式を用いて、日付や天候について質問したり、質問に答えたりすることができる。 | コミュ英Ⅰ 学習状況の観察 定期テスト 実技テスト | ・自分についての基本的な情報(名前、誕生日、年齢など)を書くことができる。 ・基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文(1文)を書くことができる。 | コミュ英Ⅰ 学習状況の観察 定期テスト 実技テスト | ・ゆっくりはっきりと発音されれば、身近な単語や句を正確に聞き取ることができる。 ・ゆっくりはっきりと話されれば、「立て」「座れ」「止まれ」などの短い簡単な指示を理解することができる。 | コミュ英Ⅰ 学習状況の観察 定期テスト 実技テスト | ・基本的で具体的な語句の意味を理解することができる。 ・日常生活で使われる非常に短い簡単な指示を理解することができる。 ・挿絵や写真のある簡単な1～3文程度の英文を理解でき、簡単なメッセージの内容を読み取ることができる。 | コミュ英Ⅰ 学習状況の観察 定期テスト 実技テスト |

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|------|--|--|--|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用について知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|--|---------------------------|--|--|--|--|
| Lesson 1 This is My House 世界の家 (7 時間) | 世界の家についての紹介を通してその特徴を学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・世界の様々な家に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違うことを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分の身の回りのことについて積極的に表現できる。 | ・例示する表現を用いて自宅の部屋にある家具や物品について3文程度の説明文を書く。 | ・ある部屋の写真を見せ、メモをもとにその部屋の様子を簡潔に説明することができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・世界の家に関する説明を読み、概要を的確にとらえている。 | ・紹介された家について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| Lesson 2 My Favorite Hero 錦織圭 (7 時間) | 人物についてその背景や魅力について学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・人物の紹介とその背景や魅力に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・人物について積極的に表現できる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違うことを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分の好きな人物について正確に表現し、適切に説明できる。 | ・例示する表現を用いて友人や目標としている人物について3文程度の説明文を書く。 | ・ある人物の写真を見せ、メモをもとにその人物を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・人物に関する説明について概要を的確に理解できる。 | ・紹介された人物について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・過去形について基本的な知識を理解できる。 ・事物の紹介という場面に適切な表現を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|--|---|--|--|--|
| Lesson 3 Cool Culture from Japan 世界に羽ばたく日本文化 (7 時間) | 日本のマンガについての対話を通して日本のマンガや文化がどのように世界に広がっているかを学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 日本のマンガの海外での人気の背景に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 日本文化について積極的に表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 日本文化について正確に表現し、適切に説明できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて日本の文化について3文程度の説明文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 代表的な日本文化にまつわる写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 日本文化についての説明を的確に理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 紹介された日本文化について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文で紹介された日本文化に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 助動詞 (can/will) の使い方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 4 A Miracle Mirror 夢のような絶景 (7 時間) | 世界の絶景について書かれたメールを通してその魅力について学習する。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 世界の絶景と言われる場所に関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 行ってみたい場所について積極的に表現できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ペアでの言語活動を観察する。 ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 行ってみたい場所について正確に表現し、適切に説明できる。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて行ってみたい場所について3文程度の説明文を書く。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の美しい景色の写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 場所についての説明を読んで情報を理解し、概要をとらえることができる。 場所についての書き手の考えを正確に理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ウユニ塩原について要約を書くとともに、その内容を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> グループでの言語活動を観察する。 クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> to 不定詞の使い方を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> 例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|--|---|---|---|--|
| Lesson 5 Finding My Future それぞれの 夢 (7 時間) | 高校生の夢や目標について知り自分の将来について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・高校生の夢や目標について関心を持ち、積極的に読んだり聞いたりできる。 ・自分の将来の夢について積極的に表現できる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分の将来の夢について正確に表現し、適切に説明できる。 | ・例示する表現を用いて将来の夢について3文程度の説明文を書く。 | ・世界の美しい景色の写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・高校生が目標のために頑張っている学校生活について情報を理解し、要点をとらえることができる。 | ・紹介された高校生の体験について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period 奇想天外な 浮世絵師 (7 時間) | 江戸時代の浮世絵師、歌川国芳についてのスピーチを通して浮世絵と現代マンガの関連性について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・歌川国芳について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・間違えることを恐れずに好きな絵や写真について描写ができる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・絵や写真の描写に適切な表現を用いて表現できる。 ・絵や写真について自分の考えを述べたり書いたりできる。 | ・例示する表現を用いて絵画について5文程度の説明文を書く。 | ・著名な芸術家の作品を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・歌川国芳に関する紹介を読み、概要や要点をとらえることができる。 | ・紹介された浮世絵について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・動名詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| | | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・歌川国芳について関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・間違えることを恐れずに好きな絵や写真について描写ができる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・絵や写真の描写に適切な表現を用いて表現できる。 ・絵や写真について自分の考えを述べたり書いたりできる。 | ・例示する表現を用いて絵画について5文程度の説明文を書く。 | ・著名な芸術家の作品を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・歌川国芳に関する紹介を読み、概要や要点をとらえることができる。 | ・紹介された浮世絵について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・受け身についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|--|---|---|--|--|--|
| Lesson 7 Living on ice コウテイペンギンの世界 (7 時間) | 絶滅の危機に直面しているコウテイペンギンについての説明文を読み、地球温暖化の影響について考える。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・コウテイペンギンについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 ・地球温暖化防止について積極的に提案できる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・地球温暖化防止について自分の考えを適切に表現できる。 | ・例示する表現を用いて地球温暖化について 5 文程度の説明文を書く。 | ・絶滅の危機に瀕している動物の写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・コウテイペンギンに関する説明を読み、概要や要点をとらえることができる。 | ・コウテイペンギンの特徴や直面している危機について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・現在完了形についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |
| Lesson 8 Building Trust in Space 若田光一 (7 時間) | 国際宇宙ステーションの船長となった若田光一さんについての情報を読み、船長の重要な職務に対する若田さんの考えを学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・若田さんの船員同士のコミュニケーションに対する考えについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・偉業を成し遂げた人物について説明できる。 | ・例示する表現を用いて尊敬する人物について理由を挙げながら 3 文程度の説明文を書く。 | ・歴史に残る偉人の写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・若田さんについて読み、概要や要点をとらえることができる。 ・つながりを示す語句に注意しながら読むことができる。 | ・船長としての責務について本文の要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・It の用法についての基本的知識を理解できる。 ・理由を述べる表現の使い方を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |

| 単元 (配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|--|---|--|---|--|
| Lesson 9 Pigs from across the Sea 海の向こう からの贈り 物 (7 時間) | 第二次世界大戦後の沖縄の惨状とそれを救おうとしたハワイの日系アメリカ人について学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・第二次世界大戦後の沖縄の惨状と沖縄出身のハワイの日系アメリカ人の試みについて関心を持ち、積極的に読んだり聞いたりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・自分と世界の結びつきを深める活動に対する自分の考えについて伝えることができる。 | ・例示する表現を用いて海外の人々との交流について3文程度の説明文を書く。 | ・国際交流についての写真を見せ、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・第二次世界大戦後の沖縄の惨状と沖縄出身の日系人の試みについて要点や概要を読み取ることができる。 | ・故郷を想う日系人がとった行動とその結果について要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| Lesson 10 I Am Malala すべての子供に教育を (7 時間) | 学校で教育を受ける権利について立ち上がった少女マララさんと彼女の考えについて学ぶ。 | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ・マララさんと彼女の考えについて関心を持ち、積極的に聞いたり読んだりできる。 | ・単元の写真に関するリスニング活動を行い、概要をとらえる。 | ・聞き取った内容を間違えることを恐れず、積極的に話し合っている。 | ・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートなどを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「外国語表現の能力」 | | | |
| | | ・地域の問題点に対する自分の考えについて聞き手に正確に、かつ適切に伝えることができる。 | ・例示する表現を用いて地域の問題点とその改善策について3文程度の説明文を書く。 | ・地域や社会の問題点について、メモをもとにその内容を簡潔に説明することができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「外国語理解の能力」 | | | |
| | | ・マララさんに関する情報や事実とマララさんの考えを区別しながら適切に読むことができる。 | ・マララさんがとった行動とその結果について要約を書くとともに、その内容を発表する。 | ・本文で紹介された内容に加えて、題材背景資料等を用いてより詳しい説明ができる。 | ・グループでの言語活動を観察する。 ・クラス内で発表をし、内容が理解できているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | ・関係代名詞についての基本的知識を理解できる。 | ・本文中で用いられている意味や用法を理解する。 | ・例示する表現を用いて写真の人物や情景を描写することができる。 | ・言語の使用場面と働きを意識した小テスト・定期テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。 |